

第2次大口町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)のパブリックコメントの意見と回答

○意見の募集期間 令和8年2月25日(水)から令和8年3月11日(水)まで

○意見を提出された方 1名

○意見の件数 2件

意見番号	提案主体名	意見箇所	意見	回答
1	個人	25 ページ 第4章 4-3 ロードマップについて	<p>「新技術の活用」の項目のうち2つにAIが上がっています。</p> <p>AIの可能性は、確かに大きくなっておりますが、同時にAIデータセンター向けの電力需要が急増し、総務省の資料によれば、これの主な要因として、2022 年から 2040 年にかけて、総発電電力量が 1～2 割増加する見通しとされています。</p> <p>利便性は評価できますが、どのように利用するかは大いに検討される必要があると思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>25 ページの図 4-3 のロードマップですが、2050 年にカーボンニュートラル実現に向けての指針としています。</p> <p>ご指摘のとおり、デジタル化の進展による電力消費量の増加が見込まれます。</p> <p>その一方で、同じくデジタル化の進展による配送量の減少等が予想され、トータル的には温室効果ガスの削減が見込まれることから2030 年度以降の取り組みのひとつとして、今回の計画に記載しております。</p> <p>新技術については、さらなる技術革新も予想されることから、本計画期間内においても導入可能性を注視しながら、計画を推進してまいります。</p> <p>今後も地球温暖化対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

2	個人	<p>31 ページ 第5章 5-2 基本方針2② 中小企業者の 省エネ活動の 促進支援</p>	<p>第2章2-3(3)において、もっともCO2排出量の多い産業部門において、もっとも対策が進んでいないのがグリーン配送やグリーン電力の取り組みであることが明らかなのだから、これに関する国や補助金をもっと事業者へ情報提供するとともに、大口町としてもこれのみに絞った補助金を創設し、宣伝した方が高いと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>昨年実施しました事業所向けアンケートによると、グリーン配送やグリーン電力の利用については、認知度が低く、ほとんど取り組まれていないことが把握できました。</p> <p>太陽光発電システム整備などに比べ、いずれも導入コストが比較的安く、CO2削減が期待できることから、グリーン配送やグリーン電力の認知度を高め、利用を促進するように、町から直接、または事業者団体を通じて情報提供を行っていきたいと考えております。</p> <p>今後も地球温暖化対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
---	----	---	--	--